

## 今日の一問 (やまだ塾)

(2008年5月15日掲載)

No.18	バイステックのケースワークにおける「受容の原則」「個別化の原則」について述べよ。
解答	<p>・バイステックは、1957年に『ケースワークの原則』を著し、利用者と援助者がより良い信頼関係を形成するために、援助者に求められる基本となる7原則を提示した。</p> <p>・「受容の原則」とは、利用者の長所や短所、建設的な態度や行動および破壊的な態度や行動も含めて、利用者の姿をあるがままに理解して受け入れるということである。援助者がこのような態度を示すことによって、利用者は自己防衛本能から抜け出せることができるとされている。受け入れるということは、その人の行為や考え方に賛成するということではなく、その人がそのように行動し、そのように考えたということをそのまま理解し、受け止めるということである。</p> <p>・「個別化の原則」とは、利用者を人間一般とみるのではなく、特定の人格をもつ、かけがえのない存在として接するべきだということである。利用者が、自己の抱える問題や自分自身を、大切にされたいと願う基本的欲求に対して援助者が守るべき原則である。</p>

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2008 Shunsaku Yamada. All rights reserved.